



一般的なプライバシー情報

最終更新: 2025 年1 月

SSABは、事業を展開する各国・地域のプライバシーポリシーの法令を遵守します。プライバシー関連法令およびデータ主体の権利は、管轄区域によって異なる場合があります。さらに、特定の管轄区域のプライバシー要件に対応するため、特別なプライバシーポリシーが適用されることがあります。したがって、プライバシー通知が当該管轄区域の法令と矛盾する場合、適用可能な範囲において現地法が優先されます。

SSAB は、グループデータ保護責任者（DPO）を指名しており、SSABによる個人データ処理に関する詳しい情報、お問い合わせ、ご要望については、この責任者にご連絡いただけます。詳細については、セクション2をご参照ください。

1. データ管理者

SSAB グループの個人データ処理業務を担当するデータ管理者は SSAB AB（登録番号 :556016-3429、住所 :P.O. Box 70, SE-101 21 Stockholm, Sweden）。これには企業レベルでの全てのデータ処理に対する責任が含まれます。SSABは個人データが本通知および適用されるデータ保護法に準拠して処理されることを保証する責任を負います。

さらに、SSABグループの他の企業も、個別の契約またはその他の協力関係において、または特定の法的個人データ処理およびSSABグループに属する個別の法人の現地法規制への対応に関連して、データ管理者と見なされる場合があります。また、SSAB グループ企業は管理目的、およびグループや個々の法人の事業運営を促進するために個人データを共有します。[SSABグループ企業](#)および関連会社の情報は最新の[年次報告書](#)で確認できます。特定の状況におけるデータ管理者にかかわらず、SSABにおけるプライバシー問題に関する主要な連絡先はSSABグループデータ保護責任者です。

2. データ保護責任者(DPO)の連絡先

SSABのグローバルデータ・プライバシー機構は、データ保護およびデータ・プライバシーに関連する要請、またはその他の問い合わせ、懸念、ご意見、苦情についてサポートします。

SSABはまた、以下の業務を担当するグループデータ保護責任者（DPO）を指名しています：

- SSAB 組織およびその従業員に対し、欧州一般データ保護規則（GDPR）およびその他の欧州連合または加盟国のデータ保護規定に基づく、SSAB が実施するデータ処理に関する義務について通知し、助言する。

- GDPR およびその他の欧州連合または加盟国のデータ保護規定、ならびに個人データの保護に関連する SSAB のポリシーの遵守を監視する。
- 処理業務に関与する従業員の責任の割り当て、データ保護意識の向上、トレーニング、関連する監査を担当する。
- データ保護の影響評価とパフォーマンスの監視に関するアドバイスを提供する。

データ保護責任者はまた、監督当局と協力し、処理に関連する問題について監督当局の連絡窓口として機能し、必要に応じてその他の事項について相談します。

SSABのデータプライバシー機構およびグループデータ保護責任者(DPO)は data.privacy(at)ssab.comからご連絡いただけます。

3. 個人データの移転または開示

SSABは個人の個人データを以下の第三者に移転または開示する場合があります：

- SSABグループの他の企業（内部処理目的の場合）
- 法律によって認められている、または義務付けられている場合、召喚命令または同様の拘束力のある法規等、管轄権を有する公的機関による要請に従う開示；
- 信頼できるサービスプロバイダーまたはSSABパートナー（例：サプライヤー、代理商、ディストリビューター、マーケティングサービスプロバイダー）。
- SSABが合併、買収、資産のすべて又は一部の売却を行う場合の開示；また
- SSABの権利を守り、ユーザーやその他の安全を守り、詐欺行為について調査し、政府の要請に対応するため、開示が必要であるとSSABによって善意で判断した場合の開示。

第三者機関は、ケースに応じて独立したデータ管理者（データコントローラー）またはデータ処理者（データプロセッサー）として行動する可能性があります。

4. EU/EEA域外の国や地域への個人データの転送

4.1 グループ内の移動

一部のSSABグループ企業はEU/EEA域外に所在しているため、個人データがEU/EEA域外に移転される場合があります。このような場合、SSABは欧州委員会が承認した標準契約条項 (Standard Contractual Clauses) など、EU/EEA域外への移転に必要な確立されたメカニズムを適用します。

4.2 EU/EEA域外に所在するサービス提供者およびその他のデータ受信者

SSABは個人データ処理のためにサービスプロバイダーを利用する場合があります、個人データがEU/EEA域外に移転される可能性があります。SSABは、欧州委員会が承認した標準契約条項(SCC)および追加的な保護措置など、第三国への個人データ移転を可能にする必要な確立されたメカニズムを採用します。

5. セキュリティ

SSABは、個人データの損失、破壊、悪用、不正アクセスまたは開示から保護するため、適切な物理的、技術的および組織的なセキュリティ対策を維持しています。例えば、SSABでは、こうした情報へのアクセスの許可は、業務または契約上その情報を知る必要がある、正当な権限を持つ従業員ならびに契約業者、またSSABによって提供される指示に厳格に従った範囲でデータ処理を行う第三者サービスプロバイダーのみとしています。

SSABは個人データに対して適切なセキュリティ対策を講じるよう努めていますが、あらゆる潜在的なセキュリティ侵害を防ぐことができるシステムは存在しないことにご留意ください。

6. あなたのプライバシー権

適用されるデータ保護法に基づき、データ管理者としてのSSABが取り扱う個人データに関して、プライバシー権利を行使する資格を有する場合があります。適用される法令に従い、以下の権利を有する場合があります：

- ご自身の個人データが処理されているかどうかの確認、および処理されている場合には当該個人データへのアクセスを取得する権利
- 個人データに不正確な内容がある場合にその修正を請求する権利
- ご自身の個人データの削除を請求する権利
- ご自身の個人データの処理の制限を請求する権利
- ご自身が能動的に提供した個人データのデータポータビリティを請求する権利
- ご自身の状況に特有の理由に基づき、個人データの処理に異議を申し立てる権利
- 以前に与えた個人データ処理に関する同意を撤回する権利

ご注意ください：特定の状況においては、地域の法令により特定のプライバシー権利の行使が制限される場合があります。権利を行使される場合は、SSABデータプライバシー機関 (data.privacy@ssab.com)までご連絡ください。さらに、お客様は、管轄のデータ保護当局に連絡、要請、または苦情を申し立てる権利を常に有しています。

7. プライバシー通知の変更

SSABは随時、プライバシー通知を変更することがあります。最新版を確認するため、定期的にアクセスすることを推奨します。以下の点にご注意ください。これらのプライバシー通知は、あくまで情報提供を目的としたものです。必要な場合、SSABは合理的かつ利用可能な手段を通じて、重要な変更について個人に通知します。

内部告発

1. 個人データ処理の法的根拠および目的

SSABは透明性のある企業風土と高いビジネス倫理の実現を目指しています。内部通報システムは、従業員および外部関係者が、法令違反、SSAB行動規範または会社方針への違反の疑いを通報するための機密性の高い手段を提供します。

1.1 SSABの倫理ライン

SSABはグループ全体で統一された報告チャネル倫理ラインを設置しており、従業員および外部関係者はここで法律・規制違反、SSAB行動規範または社内ポリシー違反の疑いを報告できます。

SSABは倫理ラインにおいて、報告された不正行為の管理・調査および確認された違反行為への対応措置を目的として個人データを処理します。SSABは倫理ラインにおける個人データ処理を、いわゆる「利益衡量」に基づいて実施しています。

活動の手順	法的根拠	説明
不正行為の報告について	正当な利益 法的義務	従業員および外部の方が不正行為を倫理ラインを通じて報告できるようにすること。SSABは、この利益がデータ主体のプライバシー保護に関する利益を上回ると判断しています。SSABは、法律違反、SSAB行動規範または会社方針への違反（不正行為または犯罪の疑いまたは確定事実を含む）に関する個人データを処理する場合があります。このような処理は、現地法に従って、または法的請求を立証、主張または防御するために必要な場合に実施されることがあります。
法的措置	正当利益	場合によっては、SSABは報告された事案に関連して法的措置を講じるため、個人データを処理することがあります。SSABは報告された事案に関連した対応を可能にする必要があり、この利益がデータ主体のプライバシー保護に関する利益を上回ると判断しています。
法律違反の調査	公益 法的義務	SSABがセンシティブな個人データまたは法律違反に関するデータを処理する必要がある場合、この処理は法的請求を立証、主張または防御するために必要であることを根拠として行われます。場合によっては、SSABが労働法、社会保障および社会保護の分野における義務を履行し、特別な権利を行使する必要がある場合、機微な個人データを処理することがあります。

1.2 SSABの内部通報窓口

EU指令2019/1937（「EU公益通報者指令」）および当該指令を国内法化したEU加盟国の法令に基づき、SSABは公益通報のための内部通報制度（「内部通報チャンネル」）を設置する義務を負っています。SSABは、内部通報チャンネルを通じて受理した公益通報案件の対応及び調査を目的として、個人データを処理します。

内部通報チャンネルで処理される個人データは、以下の要件を満たす開示目的においても処理される場合があります：

1. 報告された案件に関連して判明した事象に対処するために必要な場合
2. 報告内容を法的な手続きにおける証拠として使用する必要がある場合
3. 適用される法令および規制に従って行われる場合

活動の手順	法的根拠	説明
内部通報チャンネルを通じた案件調査	法的義務	SSABは、内部通報チャンネル(Internal Reporting Channels)を通じて受領した案件に関連する個人データを処理します。これはSSABが通報のために提供が義務付けられているチャンネルです。
内部告発	公益 法的義務	通報案件の性質に応じて、SSABはセンシティブな個人データを処理する場合があります。 場合によっては、SSABが労働法、社会保障および社会保護の分野における義務を履行し、特別な権利を行使する必要がある場合、機微な個人データを処理することがあります。
違反行為の調査	法的義務	SSABは、犯罪の嫌疑または確定事実を含む違反行為に関する個人データも処理する場合があります。このような処理は、内部通報チャンネルを提供するために必要であることから行われます。
法的措置	正当利益	場合によっては、SSABは通報に関連して法的措置を講じる目的で個人データを処理する可能性があります。センシティブな個人データや法令違反データを処理する必要がある場合、SSABは法的請求の立証、主張または防御に必要な範囲でこれを行います。

内部通報チャンネルを通じて受け取ったフォローアップ案件で処理される個人データは、SSABにより報告書の受領、フォローアップおよびフィードバック提供の権限を付与された担当者のみが処理できます。各権限保有者が業務を遂行するために必要な範囲でのみ、個人データへのアクセスは制限されます。フォローアップ案件を扱う担当者は、開示の権限がない場合、通報者または案件に関連する他の個人の身元を特定可能な情報を開示してはなりません。

1.3 報告されたその他の懸念事項の処理

SSAB が倫理ラインまたは内部通報チャンネルを通じて受け取る報告の中には、その性質上、内部通報システムに帰属するものではなく、倫理ラインまたは内部通報チャンネルで扱われる事項の範囲外とされるものがあります。

これらの報告事項には、SSAB が内部通報プロセスの範囲外で調査・対策を行うことを決定した事例または懸念事項に関する情報が含まれる場合があります。例えば、認識された事項に対応を行うことが、SSAB の法的義務である場合、または SSAB の正当な権利である場合などです。この場合、個人データは、報告された事項に関連してフォローアップおよび措置を行う法的義務または正当な権利に基づいて処理されます。

この場合、個人データは、報告された事項の処理およびフォローアップ、ならびに報告された事項に関連する措置を行うために必要な期間においてのみ、保管されます。

場合によって、個人データは、法的請求について確立、主張、または防御を行うために使用されます。このような状況では、個人データは、法的手続および関連措置が完了するまで保管されます。

2. 個人データの収集

倫理ラインと内部通報チャンネルの報告には様々な個人データが含まれる可能性があります。この情報は、通報者本人、通報対象者、または報告書に記載されたその他の人物に関連する場合があります。

報告は匿名で提出可能ですが、通報に関連して個人データが処理される可能性があることにご注意ください。報告には以下のような個人データが含まれる場合があります：

個人データ	例
報告者または報告対象個人の詳細な個人データ (開示された場合)	氏名、性別および国籍
お問い合わせ情報 (開示された場合)	メールアドレス、電話番号、住所、都市
報告者または報告対象個人の役割および職務内容	職位、内部職務
報告された事象の詳細	報告された事象の内容
講じられた措置	事象解決のために実施された緩和策および措置
調査報告書	事象に関する調査報告書
調査中に収集されたその他の個人データ	面接中に収集された情報、ならびに電話記録、データファイル、音声ファイル、IPアドレスおよびその他の技術データ、さらに電子メールを通じて収集された情報。

ケース固有のデータ	場合により、事件の性質に応じて、以下のような機微な個人データが処理されることがあります：人種または民族的出身に関するデータ、政治的意見、宗教的または哲学的信念、労働組合加盟状況、健康状態または性生活に関する情報。
-----------	--

倫理ラインおよび内部通報チャネルは、機微な個人データの取得を目的とするものではありません。この種の情報が提供された場合、前述の法的根拠がある場合にのみ、当該情報が処理されます。

通報は、SSABが疑わしいまたは確認された犯罪を含む法律違反に関する個人データを処理することを意味する場合があります。

原則として、この個人データは従業員から直接収集されます。ただし、倫理ラインおよび内部通報チャネルに関する報告に関連する個人データは、直属の上司、他の従業員、証人、外部関係者などの他の情報源から収集される場合があります。

倫理ラインおよび内部通報チャネルにおける報告は秘密厳守で扱われ、報告を処理する担当者は、内部告発者または案件に関与する他の個人の身元を明らかにする可能性のある情報を、権限のない第三者に開示してはなりません。提出された情報は、法的要件や適切な調査を実施するために必要な場合を除き、機密として扱われます。その場合でも、情報は慎重に取り扱われます。

3. 個人データの移転または開示

SSABは、倫理ラインおよび内部通報チャネルにおける個人データ処理の目的を達成するために必要な場合、第三者に対して個人データの移転、開示および処理委託を行う場合があります。第三者としては、倫理ラインおよび内部通報チャネルの運営サービスプロバイダー、監査法人、法律サービスプロバイダー、法科学捜査機関、ならびに重大な違反行為の検知・調査・是正または法的請求の立証・行使・防御に必要なその他のサービスプロバイダーなどが挙げられ、これらはすべて適用される法令およびEU内部通報指令の規定範囲内において該当します。

SSABはまた、SSABの権益を保護し権利を行使する目的で、警察および/またはその他の関連当局、監督機関または裁判所に個人データを提供する場合があります。

倫理ラインシステムはPeople Intouch B.V.によって提供されています。倫理ラインにおけるすべての個人データ報告はEU域内に保存されます。

4. 個人データの保持

個人データは、報告内容の調査および当該調査結果に基づく必要な措置を講じるために必要な期間のみ保存されます。

- フォローアップ案件に関連する個人データは、案件終了後2年を超えて処理されることはなく、適用される国内法に別段の定めがある場合を除きます。

- 過剰な個人データおよび報告事案に関連性のない個人データは、速やかに削除されます。
- 法的請求の立証・主張・防御のために処理される個人データは、訴訟手続きが終了し、かつその後時効期間が満了するまで保存されます。
- 内部通報チャネルにおける書面報告および口頭報告の記録は、必要な期間保存されますが、フォローアップ案件終了後2年を超えることはなく、これも適用される国内法に別段の定めがある場合を除きます。

5. プライバシー権の例外

個人は「一般プライバシー情報」に記載されている通り、プライバシー権利を行使する権利を有します。ただし、この点に関しては一定の制限が適用される場合があります。

- 本通知で定義された目的を達成するために、また法的に要求される場合もあるため、特定の情報は厳密に必要となる点にご留意ください。こうしたデータについては、保持期間を定めた適用法上、削除が認められない場合があります。また、データを意図した目的で処理し続けるという優先権がある場合も許可されません。
- 倫理ライン(Ethics Line)または内部通報窓口を通じて報告された個人データに関しては、当該従業員の個人データの開示が調査を妨げる可能性がある場合、SSABはアクセス要求に応じない場合があります。
- SSABが倫理ラインまたは内部通報窓口を通じて個人データを含む報告を受けた場合、または調査過程で個人データが収集された場合、SSABは可能な限り関係者に通知します。ただし、当該情報の提供が調査を妨げる恐れがある場合、そのようなリスクが解消されるまで情報提供は行われません。

SSAB is a Nordic and US-based steel company that builds a stronger, lighter and more sustainable world through value added steel products and services. Working with our partners, SSAB has developed SSAB Fossil-free™ steel and plans to reinvent the value chain from the mine to the end customer, largely eliminating carbon dioxide emissions from our own operations. SSAB Zero™, a largely carbon emission-free steel based on recycled steel, further strengthens SSAB's leadership position and our comprehensive, sustainable offering independent of the raw material. SSAB has employees in over 50 countries and production facilities in Sweden, Finland and the US. SSAB is listed on Nasdaq Stockholm and has a secondary listing on Nasdaq Helsinki. Join us on our journey! www.ssab.com, [Facebook](#), [Instagram](#), [LinkedIn](#), [X](#) and [YouTube](#).

SSAB AB (Publ)

Box 70,
SE 101 21 Stockholm
Sweden

T +46 8 45 45 700
F +46 8 45 45 725

E: info@ssab.com
www.ssab.com

Org.nr 556016-3429
VAT/Reg.nr SE556016342901